



早産児の宿命 ～胎児期の環境(出生前)～

? なぜ今生まれなきゃならなかったの

①胎児炎症反応症候群(FIRS:Fetal inflammatory response syndrome)

児が成熟していくためには、妊娠の継続が必要

未熟な免疫反応

炎症抑制性サイトカイン産生は低い

でも一方で、絨毛膜羊膜炎があれば、児は炎症環境に長時間さらされることになる

炎症性サイトカイン産生は高い

こんなふうにはバランスが悪いので、過度の炎症が持続して胎児に影響を及ぼすことになる

そして、、、
分娩の時期が来る



? 一方で、出生して胎外環境で児が育つということは

②早産児

疾患治療というよりは、予測・予防医療が重要になるよね

胎外環境

“ヒト”として生活しながら
“ヒト”に完成させていかなければいけない

胎内環境

全て守られている状態

出生前の影響

出生後の影響

FIRS

絨毛膜羊膜炎

羊水感染

酸素

酸素が過剰

酸素が不足

これらが重なり合って、様々な組織障害に繋がっていく



NEXT

早産児の出生